



発行者
南河学園

発行責任者
理事長 伊山喜二

TEL (072) 975-2200

FAX (072) 975-2224

http://www.nankagakuen.jp

Eメール: info@nankagakuen.jp

広報委員会

バック
ナンバー
QRコード



トピックス

- 1 面：理事長挨拶
創立記念式典
地域交流会
マラソン大会
- 2 面：成人の日
お菓子作り等
- 3 面：退園式
退園パーティー
- 4 面：フットサル
ソフト大会
ボーリング大会
招待行事
- 5 面：慰問招待行事
お祝い茶話会
新任職員紹介
- 6 面：インスタグラム
編集後記
寄贈一覧

ご挨拶

6月に入り、梅雨の時期となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

本園では、3月に退園式・退園パーティを実施致しました。今年は高校生5名がそれぞれ就職、短大や専門学校への進学を志すなど、それぞれがそれぞれの道へ歩むべく巣立って行きました。幼児の頃から約16年間学園で生活した園生もいます。答辞もそうでしたが、退園パーティでのそれぞれの挨拶には、涙が溢れ、これからの日々が笑顔で溢れる毎日になることを祈っています。

4月に入り、桜の花びらがひらひらと舞い散る頃には、各高校、中学校、小学校、こども園と入学式がありました。今年度は全員で19名の入学者がおりました。新しい学校、新しいお友達とこれから頑張つてほしいと思います。

今年度は新任の職員を3名迎える事が出来ました。フレッシュで元気な職員に、我々も負けないようにと思ひます。新しいメンバーを加えた南河学園職員一同、地域に愛される施設を目指して精進して参ります。今年度もどうぞ、よろしくお願い致します。

理事長
伊山喜二



101回目の誕生日

創立記念式典

2月11日、当法人の第101回創立記念式典が行われました。式典には国分小学校校長先生、国分中学校校長先生・教頭先生を始め多数の来賓の方々が出席して下さいました。今年度は柏陽会様、柏原市民生・児童委員協議会様、道明寺天満宮様、柏原地区更生保護女性会様、藤井芳明様、中田悟志様、高坂修輔様に特別感謝状が贈呈されました。その後、14名の法人職員に対して永年勤続表彰が贈られました。また、昨年100周年記念式典で披露された法人の『100年の歴史』の映像が公開されました。大正14年に、伊藤宗順氏が司法少年保護団体を創設

し、また戦後戦争孤児を養護施設に転換して歴史が続き101年。入所理由は昔と大きく変わっていき、子供達と向き合う施設職員の仕事は、変わっていません。これからも基本理念である仏教の教え（明く・正しく・優しく）を生活の基盤とし、家庭的な生活環境でお互いが協力しながら生活し、心身共に健全に成長出来るよう尽力致します。日頃から物心共に支援下さる方々に心から感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございます。



厳粛に行われました

美しい音色で学園をお祝い

地域交流会

2月11日、創立記念式典の次は、お楽しみ地域交流会です。今年も学園と児童達の為に、美味しい食事を用意して頂きました。寒空の中、たこ焼きとフランクフルトを頬張り、豚汁、みたらし団子も頂きました。



大教大演奏表現コースの皆さんの素晴らしい管楽器♪

演奏表現コースの皆さんの素晴らしい管楽器♪



ふうせんかずらのお二人
ハンドベルの音色素敵でした

ふふうせんかずらのお二人、ハンドベルの音色素敵でした。その音色は、スの音に似て、演奏を披露して頂きました。沢山のハンドベルを演奏し、綺麗な音を奏でました。学園行事です。ハンドベルを演奏する姿は、とても素敵でした。笑顔で手をたたき、盛況の中地域交流会は幕を閉じました。

最後まで走り切った

柏原シティキャンパスマラソン

3月8日、大阪教育大キャンパス内で開催された柏原シティキャンパスマラソンに、今年も出場しました。今回は本園の小学生14人が3kmを、中学生5人と職員2人が5kmを走りました。この大会に向けて、昨年11月頃から本園の周りや大和川親水公園でランニングを練習を重ねてきました。「今年は1位とる!」「去年のタイムを縮める!」等選手達はやる気満々でした。



完走したよ



まさかの入賞!

まさかの入賞! 今年なんと、高校生男子が6位、小学生女子がそれぞれ2位、4位、6位に入賞。素晴らしい成績を残し、表彰台に立つ事が出来ました。完走した後どの児童も「めっちゃ頑張った」「先生もお疲れ様」「タイム縮んだぞ!」「何度か歩きたいな」「たけど、先生に負けへんように最後まで頑張った」「来年も頑張る」「等、沢山感想を話した。皆良く頑張りました。選手

夢に向かつて

退園式

3月18日、本園にて退園式を行いました。今年、高校3年生が5名退園しました。来賓として、当法人の保育園の園長と副園長、保育士の方々と中学校の先生方が参列して下さいました。退園生には、毎年沢山の支援団体から祝い金や記念品を贈呈して頂いています。在園生から、退園生との思い出が詰まった送辞と、退園生より、気持ちが込められた答辞がそれぞれ披露されると知らず知らずのうちに、児童や職員の方から涙が溢れていました。退園生から来賓の方々へ、メッセージカードとお花が手渡され、中学校の先生から直接激励の言葉を頂きました。改めて、周りの方々に支えられていた事に気づき、幸せや不安を感じる退園生へ、職員一同はいつまでも応援している事やいつでも帰ってきてもいい事を伝え、祝福の拍手が送られる中、無事退園式を終えることが出来ました。

退園式で男児児童が読んでくれた答辞を掲載します。



感動の答辞に職員は涙がボロリ

答辞

冬の寒さが和らぎ、窓から見える風景にも春を感じさせる陽気となりました。南河学園を退園するにあたり、お世話になった学園の先生、保育園の先生方、学校の先生方に感謝とお礼の気持ちを述べていただきたいと思います。

僕は、姉が入所していた南河学園に2歳の時に来ました。当時のことはあまり記憶にはないですが、人見知りがなく、誰とでも仲良く、元気に過ごしていたと話を聞きました。初めての川遊び、楽しい事はばかりで毎日がとても楽しかったことを覚えています。

小学生にあがると、自分の感情やイライラを抑えられなくなり、授業を真面目に受けられなかったり教室を走り回ったりしていました。自分でも「ちゃんと授業を受けたい」と思っていたんですが、気持ちが我慢できなくて毎日イライラしていました。自分一人ではどうしようもなかった時に、いつも助けてくれたのは担当の先生でした。僕が授業を受けられない時も、毎日小学校まで来てくれて、教室の側で見守ってくれていました。いつも先生が隣にいてくれたから少しずつ授業も受けられるようになりました。

小学2年生の時には姉が家に帰り、僕も姉と一緒に家に帰れると思っていました。しかし、姉だけ家に帰り、僕だけ施設に残ることになりました。小さいながらに「なんで僕だけ帰れないのかな」と思っていました。それから外泊はありましたが、小学5年生の時を最後にお母さんから連絡がなくなり、会えなくなりました。その時は、「また会えるかな」という気持ちでいましたが、退園するまで会うことはなかったです。

6年生の最後には、コロナウィルスが日本に蔓延し学校生活もかなり制限されていきました。学校への登校も午前と午後に分かれて、限られた友人としか会うことが出来ませんでした。班で給食を食べることが友人との会話、今までも当たり前だったことが急に出来なくなりました。本当にストレスでした。卒業式も練習が出来なくてぶっつけ本番でも緊張した事を覚えています。

ウイリスにかかってしまった子が複数人でしまったので出場できませんでした。感情を爆発させて悔しがった事を昨日のように覚えていいます。僕たちの年代は、コロナウィルスと付き合っている生活が基本だったので、できることならコロナウィルスがない中学生生活を過ごしたかったです。

高校生になり、学校生活は正直、平凡でなんとなく毎日過ごしていました。クラブにも入部せず、特にやりたいこともなかったのが毎日学校から帰ってきたら携帯ゲームをすることが僕の楽しみになっていました。

これまでの僕の人生の大半は南河学園での生活です。南河学園が自分にとっての「家」だと思っています。僕は自分の家から自立して一人暮らしをしながら、ゲームを作る専門学校に通います。自分のやりたいことが出来ることはとても楽しみです。初めての一人暮らし、新しい学校や環境、正直不安の方が大きいです。でも僕は将来の為に頑張っていこうと思っています。そして偉大なゲームクリエイターになって、世界に認められるようなゲームを作ります。その時は胸を張って学園に帰ってこようと考えています。その時は「おかえり」と言ってくれて温かく迎えて下さい。南河学園は僕の「実家」なのでよろしくお祈りします。

在校生の皆さん、いい事も、嫌な事もたくさん先生たちと話をしてください。話をすることでお互いの気持ちや感情が分かり合えます。僕は学園を出ていく前に、たくさん先生の方といひ話も嫌な話もたくさんしました。解決方法や、先生方の人生経験など沢山教えてもらいました。その中で僕が感じたことは先生方の「温かみ」でした。どんな時でも味方になってくれる先生方がいるので安心してたくさん話を話してください。

退園生代表 R・S

旅立つ仲間をみんなでお祝い

退園パーティー

退園式で別れを惜しんだ後は、引き続きホールにて退園パーティーを行いました。パーティーの為に皆が大好きなお寿司や唐揚げ、ケーキ等が振舞われました。美味しい料理に大喜び。この瞬間だけは寂しさを忘れ、お寿司やエビフライをばくり。会場中から笑顔が溢れます。

次に学園職員から、退園生へ『明日があるさ』の替え歌をサプライズプレゼント。学園に忘れ物だんじりに行ったり、そんな個性豊かな退園生を想う素敵な歌を職員一同、思い出を込めて贈りました。

退園生へ学園児童からもお祝い品として色紙とアルバムをプレゼント。10年以上を学園で過ごした児童もおり、学園での思い出が今後しんどい事があつた時、支えになつてくれたらいいなと思います。退園生からも在園生へ「これから頑張れよ」「先生の言う事は聞いとくや」と励まし言葉と職員へ「今までありがとうございしました」「これからも頑張ります」と感謝と抱負を語ってくれました。学園を旅立つ5名の退園生にこれから輝く未来が待っている事を皆で祈願し、退園パーティーは幕を閉じました。



最後の記念写真でグッドポーズ♪

最後の決戦

フットサル河内大会

2月22日、スポーツパーク東海岩室にて河内会フットサル大会が開催された。本園、武田塾、羽曳野、生駒学園、若江学院、高鷲学園の総勢6つの施設が集い、河内会の中で優勝を争います。

初戦の相手は若江学院、レギュラーメンバーが出場します。試合前に監督職員からは「まずは全力で楽しむ事、結果は自ずとついてくる」と伝え鼓舞し、言葉が屈したのか本園の猛攻撃が炸裂し、止まる事を知りません。何本もシュートを打ち込みますが、流石は若江学院、GKが小さい体で何度も弾き返します。お互いの意地のぶつかり合いの末、12・0で本園が勝利しました。



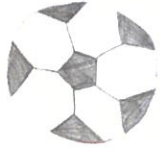
6年生はこれで引退...

2回戦目は生駒学園です。前のK'sカップで敗退した施設の為、児童達も気合が違います。試合が始まると両者一歩も譲らず、激しい攻防が繰り広げられます。本園は前半後半どちらもレギュラーメンバーを出し終始全力をぶつけます。勝利の女神に思いが届いたのか、見事4・0で無失点で勝利をおさめています。よ決勝戦へ向かいます。

します。6年生はこれが最後の試合となります。同じ強い気持ちでも他学年とは比べ物にならないくらい大きな意思を抱き、最終決戦へ挑みます。相手チームもそう簡単には勝利を譲ってくれません。何度も危ない場面はありましたが、6年生はほとんどの選手が得点を決めることが出来て6・0で勝利、今年度最後の大会も優勝することが出来ました。唯一、6年生でシュートを決められなかった児童。自分だけと悔しくて大粒の涙を流していました。顧問職員から励まされ児童は「後悔はない」と表情が和らぎました。



最後の最後まで全力で頑張った



K'sカップ 結果報告

VS 生駒学園	5	対	0
VS 武田塾	3	対	1
VS 羽曳野	8	対	0

フレイボール!

河内有志フット大会

3月30日、殖生南小学校にて河内会有志フットボール大会に参加しました。令和7年度のフットボール大会は猛暑で残念ながら中止となりました。今回の話を頂きメンバーを募集するお児童達は大喜びで参加してくれました。

本園、生駒学園、高鷲学園、羽曳野の4施設で試合を行います。今大会では、勝ち負けではなく皆で楽しくフットボールをしようというテーマで行われました。各試合では、チームのメンバーが全員出られるよう数人ニングごとで交代をしました。野球経験のある児童は、外野を超える大きなあたりを打ったり、守備では鋭い打球も華麗にさばく等大活躍でした。それを見た小学



カキーンと飛ばした

生メンバーも負けません。あまり経験のない児童の中には、外野の間を打ち抜きランニングホームランを打つ児童もいました。「やった!目標達成できた!」「皆続いて打つていこ!」と盛り上がりつつありました。令和8年度の大会に向けて良い実践となりました。優勝目指して頑張っていきたいと思います。

みんなもびっくりの3位

ボウリング大会

2月28日、大阪府児童養護施設ボウリング大会に児童4名、職員1名が参加しました。始めるまで児童は「緊張する」「ボウリング初めて」と緊張の様子でした。ボウリング大会には多くの施設が参加しており、緊張は高まるばかりです。



1ゲーム目が始まるとスベアやストライク、多くのピンを倒してゲームが進んでいきます。誰かがストライクやスペアを取ると「すごいやん!」「やばすぎ!」などの声を掛けながらハイタッチをする等、緊張も少しづつ解れていきました。1ゲーム目が終わると、チームのスコアの合計点数がまさかの全体で1位でした。途中経過の順位が

発表された途端、児童達は驚いた表情をしていました。その後休憩が終わり、2ゲーム目が取れずにゲームが進んでいきまふ。中盤になると、調子を取り戻し、ストライクを2回連続で決めた児童、スペアを連続で決めた児童もいました。全てのゲームが終わり、結果発表です。児童達は「呼ばれるかな」と緊張していました。すると「第3位南河学園」と呼ばれ、見事3位に入賞出来ました。児童達は「2位まであと2点やった」「1位になりたかった」と悔しい表情でしたが帰りは「ボウリング楽しかったなあ」「またやりたいな」と皆で楽しむことが出来ました。



かっこいいプレーに大興奮

バレーボール招待

1月17日、パナソニックスポーツ株式会社大阪ブルテオン様に、Asueアリーナ大阪で行われた大阪ブルテオンVS長野トライデントのバレーボール観戦に招待して頂き、中高生の児童9名が参加しました。

試合前のウォーミングアップのプレーを見て「今の速くない?」「やっぱ凄いわ!」と興奮していました。試合が始まると、周りの観客と一緒に拍手や拍手をしながら、観ていました。選手のサーブやスパイク、ブロック等のかっこいいプレーを見ると「かっこよすぎやろ!」「今の見た?凄すぎる!」とリアクションをして試合観戦を楽しみました。帰りには、大阪ブルテオンの選手が乗っているバスとすれ違い、選手が手を振ってくれた事にとっても喜んでいました。「楽しかった!」「かっこよかった」と大満足の一日でした。



綺麗な歌声に引き込まれた

LIVE招待

1月31日、MISHAさんのライブに参加させて頂きました。大阪城ホールへ着くと「人むっちゃいる」「すげー」と迫力に驚いていました。入場前にはペンライト、MISHAさんのタオル、ポテトチップスを頂き「こんなにしてもらってええの?」と児童達も喜んでいました。

ペンライトを点けて準備万端。ライブが始まるとMISHAさんの綺麗な歌声、一体感に児童も職員も大興奮です。口ずさんだり、体でリズムを取ったり、「MISHAさん!」と呼んでみたりと各々楽しんでいました。座席の方を向いて手を振ってもらえた際には、「今、絶対目合った!」「絶対見てた!」と大喜びでした。貴重な時間になり、児童にとっても楽しい思い出になった一日でした。



初めてする遊びに興奮

国際交流週間

3月7日、大阪府国際交流財団の7名の方々が小学生を対象に国際交流をしに来てくれました。スリランカ、台湾、ブルガリア、ベトナム、ペルーの5か国の方が順番に遊びを教えて下さり、遊びを通して海外の文化を知ることが出来ました。日本の遊びと似ている物もありましたが初めてする遊びもあり、どれも白熱した戦いが繰り広げられ大盛り上がりでした。体を動かす遊びもあり、児童も職員も全力で楽しめました。スペイン語で「こんにちを教わり、元氣な声で挨拶をする姿も見られました。海外の文化に触れられる良い機会となりました。



楽しい緑日

緑日招待

3月24日、公德学園さんにご招待頂き、緑日に年長児4名と職員で参加しました。会場に着くと「おはようございます」と大きな声で挨拶をしていました。お店には、リンゴ飴や、ソーせんべい、スーパーストック等楽しい物が沢山あり児童もどこから行くか悩んでいました。「一回全部見に行こう！」と見て回りました。スせんべいを選び頂くと、顔より大きく「うーわ！おっきい！」と喜んでいました。スーパーストックは、お店の方からアドバイスをもらい挑戦していました。自分のお気に入りの色を取り満足そうにしていました。帰りの車内で感想を聞く「めっちゃ楽しかった！また行きたいな」ととても楽しめた様子でした。



卒業生と入学生にインタビュ

児童インタビュ

新しく小学一年生になる児童へインタビュをしました。「うれしい！」と満面の笑みを浮かべる子や「はるかしたつたけど、がんばりたい」と答える子がいました。初めての事ばかりで大変なこともあるかもしれないけれど、笑顔で楽しく毎日を通してほしいです。

小学校を卒業した児童三名にインタビュをしました。一人目は、「一番の思い出に「運動会」を挙げてくれました。仲間と協力して競技に取り組んだ時間が、特に心に残っているそうです。中学校では、勉強と部活の両立が出来るように頑張りたいです」と意気込みを話してくれました。二人目は、「一番の思い出に「修学旅行」を挙げてくれました。友達と過ごした時間が楽しく、忘れられない思い出になりました」と話してくれました。中学校では「勉強をもっと頑張りたい」と話してくれました。

ドッキドキの一年生

新入園入学お祝い茶話会

4月2日、食堂にて新しく入園・入学した児童のお祝い茶話会をしました。お祝いとして、靴やハンカチ、文房具等をもらいました。次にこども園児、小学一年生は「すべりがんばりたい」と絵に頑張りたいことを描いて発表しました。中学一年生は「勉強」「部活」と頑張りたいことを書道に思いを込めて発表しました。高校一年生は決意表明として誓約書を交わしました。



「張ります」と、新しい学習に意欲を見せてくれました。三人目も、一番の思い出に「運動会」を挙げてくれました。皆で力を合わせたことが、とても印象に残っているそうです。中学校では「勉強を頑張りたいです」と目標を話してくれました。三人それぞれに大切な思い出があり、中学校生活への目標も語ってくれました。小学校での経験を活かして、新しい学校生活でも頑張りたいです。

新高校一年生になる児童二名へインタビュをしました。一人目は、「部活」です。デジタール部に入ってコンピュータに強くなりたい。そうです。入ったからには最後まで頑張りたい」と話していました。二人目は、「バイトを頑張りたい」「お金を貯めて服を買ったり遊びたい」と笑っていましたが「でも貯金もして将来困らないようにしたい」としっかりと発言もありました。



新任職員紹介

今年度新たに1名の保育士、2名の心理士が学園の仲間になりました。新任の職員にインタビュを行いました。似顔絵は広報委員長が描きました！

藤原友依奈先生



趣味

動画や映画を観る事。ゲームが好きです。スプラトゥーンやポケモンが好きです。

特技

やまと決めた事を極める事が得意です。ゲームも最高ランクに到達するまでやり、ピアノも弾けるまで練習しました。カラオケやお絵描きも得意です。

最近ハマっていること

色んな所に探検に行く事です。大阪も奈良も探検しています。

もしも願いが叶うなら

カナダに行きたいです。友人がカナダにいたので、一緒にオーロラを見に行きたいです。

意気込み

全力で関わっていくので、よろしく願います。沢山遊びましょう！



大谷拓也先生



趣味

散歩・食事。特にお肉が大好きです。絵を描く事が得意です。今ハマっていること

特技

食へ歩きです。特に場所を決めず、いい匂いが漂ってきたお店に入ります。

もしも願いが叶うなら

空を自由に飛ぶたい。綺麗な景色を沢山見たい。

意気込み

まだまだ知らない事もありますが、頑張っていくので、よろしく願います。

島尻康平先生



趣味

散歩。5キロくらい歩く事もあります。ニヤンちゅうの声真似ができます！

特技

知らない駅で降りて、その街を散策する事。

最近ハマっていること

知らない駅で降りて、その街を散策する事。

もしも願いが叶うなら

一生お金がかからない一軒家に住みたい

意気込み

子ども達職員とも沢山話をしたいので、いっぱい話しかけて下さい。



広報委員

今年も暑い夏が近づいてきます。お陰様で令和8年度育み新聞の発行が出来ました。
今号は創立記念式典や退園式がメインとなっております。しかしながら、フットサル部や地域のマラソン大会での活躍も是非ご覧頂きたいです。

編集後記



令和7年4月よりInstagramを開設しております。学園の様子を中心に定期的に投稿しております。フォロワー数も3000人を突破致しました。
左のQRコードで登録出来ますので、まだの方は是非よろしくお願い致します。



ご慰問・ご寄贈 ありがとうございます。

R8. 1. 6 ~ R9. 4. 30

敬称略・順不同

柏原市民生児童委員協議会・株式会社オクノナマコン・松尾守将 直子・株式会社リズムメディア
タキロンシーアイシビル株式会社 摂津農園・パナソニックスポーツ株式会社大阪ブルテオン
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会大阪協会・チャリサル支援活動代表 六反田和希
株式会社ラミーコーポレーション代表取締役 岸田洋平・A-style井手茜・大崎久子・土肥明子
公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団・公益財団法人日本財団会長 尾形武寿・山本地所株式会社
公益財団法人資生堂こども財団理事長 塩島義治・株式会社AOKI代表取締役会長兼社長 青木彰宏
ソフトバンク株式会社代表取締役社長 宮川潤一・手づくりボランティアハニービー
国際ソロプチミスト大阪-柏原会長 山西維久子・有限会社フリーマーケット123・細谷織良
大阪いずみ市民生活協同組合地域活動グループ・日本出版販売株式会社・清水孝祐・大木恭司
松村美和子・吉原俊夫・一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団理事長 富安陽子
ヤマザキ製パン株式会社 大阪第二工場工場長 廣健太郎・一般社団法人大阪電業協会青年部会
新庄久美子・松村寛子・木多久恵・岸本達郎・山本茂人・神澤敦子・富岡正子

